

2 学年の総合的な学習の時間 その 2

MerryXmas！！…だというのに、今年は学校があり、生徒は涙目で勉強に励んだところでした。同時に虚弱体質の私は、流行するインフルAをしっかりと頂きまして、現在自宅にてこの通信を書かせていただいております。年末の風邪なんてイヤですね。お読みいただいているみなさまもどうぞご自愛ください。

さておそらく今年最後となる本号では、総合的な学習の時間「自分探究プロジェクト（2学年）」の取組についてご紹介させていただきます。

今回は同じく2年生で行われている「**未来への提案**」という総合的な学習の時間の取り組みをご紹介します。（鹿中IB通信 NO.16）

未来への提案は、「**答えのない問題**」に better な答えを出す為の**サイクル**→**調査**→**計画**→**実行**→**振り返り**の内、

《鹿追町の》課題やニーズについて《自分たちなりの解決策を
考えてみる》 = 《計画》 の力を鍛えることを目的とした取組
です。

そして今回紹介する「自分探究プロジェクト」で鍛えたいのは
その前段の 《調査》 の力です。生徒は一人一人、《自分が興
味関心のある》コミュニティや身の回りの物事について、それら
が抱えている課題やニーズを洗い出し、そのことについて深く調
べ、レポートにまとめる。 という作業を行います。

2年生で【調査】と【計画】の力（加えてその前段にある【課
題発見能力】）を磨いておくことが、3年生で行うコミュニティ
プロジェクトに繋がっていくという設計です。

探究（課題解決）のサイクル

各教科や学校生活での学びが
各ステップの質を高めていく



大人へのアクション

そしてこの調査のプロセスの中で彼らには一つだけ、ちょっと大変な「条件」を課しています。それは、

「調査の中で必ず、その分野に関わりのある大人にアクションを起こすこと」です。 アクションはインタビューや職場体験、ワークショップ、アンケートなど様々です。

そのため生徒のみなさんは自分が誰にどのようなアクションを起こすかを決め、自ら依頼文の作成や調査の主旨をいかにして伝えるかを考え、自ら電話等で連絡を取り日程を調整し、出かけていきます。

職員室で電話を手にする彼らは一様に、**とても、緊張しています（笑）** おそらく初めて「社会人に対して電話をする」のですから無理ありません。私も社会人になりたてのころ、電話対応がなにより苦手だったことを思い出します。

緊張から用意してきた文をロボットのようにカタコトで読みあげる姿も、電話を終えたあとには、自分の力で何とかやり切れたことへの自信に溢れた表情に変わっていく瞬間も、見ていて大変ほほ笑ましいものです。

許されるなら全員動画に収めて、保護者のみなさまにお送りしたいくらいです。 彼らの挑戦と成長の瞬間を特等席で見せていただいています。



そうしてアポドリが終わったら、続々と出かけていきます。
この1週間、私がインフルにかかる前まで目にした範囲では、、、

○「町民目線での二酸化炭素の低減」をテーマにしたAくんが
役場へインタビューへ

- 「探究的な学びの今後」をテーマにしたFさんとTさんが鹿追高校の授業見学&インタビューへ
 - 「小学生へのIBワークショップ」や「部活動の早期情報提供と体験活動」をテーマにしたNさんとNくんが鹿追小と交渉へ
 - 「小規模校がなくなっていくことへの危機感」をテーマにしたTさんが笹川小にインタビューへ
 - 「冬休み中の校内でのアクティビティ」をテーマにしたKくんがアンケートの実施と校長先生との交渉へ
 - 「娯楽を増やす為町内で映画上映をする」ことをテーマにしたMさんとKさんが映画の上映権について東京の映像会社へ電話&町民ホールの使用について役場へ交渉へ
 - 「鹿追の伝統文化の保存」をテーマにしたNさんが帯広カムイトウポポ保存会に連絡
- etc…

このような動きがありました。《自分の興味関心》からスタートしているだけあり、どれもワクワク感のある取組内容だなと感じます。またついにジリジリと、鹿追の外に進出し始める生徒が出てきたのも面白いところですね。この子たちはあと一年、どこまで進化を見せていってくれるのでしょうか。

今後もちょうとした動きが多数行われていきます。

この通信をお読みいただいているみなさまの所にも今後、子どもたちからの連絡がいくかもしれません。拙いところもありますが、先生方にはあえてできるだけ大人の手は加えないようにしていただいています。そうした主旨をご理解の上、地域のみなさまのご指導ご鞭撻をいただければ幸いです。

そしてすでに貴重なお時間を割き生徒の活動にご協力いただいたみなさまに、この場を借りて改めて感謝いたします。

最後に、子どもたちが掲げているテーマをご紹介します↓

2学年 自分探究プロジェクト調査テーマ 一覧表 [11月28日時点]

氏名	対象とするコミュニティ	調査テーマ（ざっくりどんな内容？）120文字以内 11月時点
A.H	世界中(アクションするのは鹿追町民)	世界的に問題になっている地球温暖化への対策として鹿追町は何をやっているのか。その成果は。家庭でできる地球温暖化対策はどんなものか
I.K	集中力	どうやったら自分の集中力が向上して他の人に伝えられるか
U.T	自分	農業の人数不足について
U.Y	自分	十勝活性化で人口増加→保護動物について
K.K	高齢者	PRなどを行って人口の増加を目指す。
K.H	鹿追町民	湖などに浮かんでいるゴミを取る

K.Y	鹿追町民	鹿追町は年々、人口減少と少子高齢化が進んでいる。その対策について調査したい。
K.C	田舎の人達	帯広まで行って映画を見るのは遠いから鹿追町で気軽に見れるようにしたい。
K.W	2年のクラス	冬休みとかに中学校を貸し切りできたら体を動かすアクティビティをしたい。
S.H	小、中、高生	音楽はなぜ必要なのか、将来音楽を使う場面がほとんどないのになぜやるのか
S.R	自分含む全員	半導体の利便性と製造時の危険について調べ、多くの人に知ってもらいたい。
S.T	E-sports 関連者	e-sports (ゲーム) への偏見を無くしたい
T.N	小規模の小学校に 関係する人たち	なぜ小さい学校をなくすのか、小さい学校のメリットとデメリットを調べる。
T.S	小中高～大人まで	ネットの使いすぎで気分や視力、学力がおちる。
T.M	鹿追中学校 1～2 年生	IB を導入してから約一年経つのにまだ「なんで IB を導入したの？」などという声が聞こえてくるので IB について詳しく理解してもらおう
C.T	鹿追の役場の人 猟師	鹿の生息数を調べる
T.R	受験生・大人	時の流れが早く感じるのは何故か

N, K	小学生(5~6年生)	小学校から、部活はあった方がいいと思う。(全面的にアピール？ する。みんながやりたい部活をできる)
N. S	小学生	バスケの体験会をする
N. T	鹿追町民・自分	北海道、鹿追町の文化伝承の手助けをしたい！
N. M	鹿追小学校6年生	中1に上がる段階でまず中学校に慣れなきゃいけないのに、IBにも慣れないといけないのは負担が多すぎるのではないかな？=なら自分がIBについて説明、授業しに行って負担を減らせばいいんだ！
N. T	鹿追町民	鹿追町の魅力を発信して、人口減少を少しでも止めたい
B, A	北海道民	北海道の熱中症者を減らしたい！（過去の北海道の気温と比較をしたり、温暖化以外の原因の調査）
H. I	ネットやゲームを使っている人。特に受験生	ネットやゲームなどにとらわれず時間や体を大切にするために、勉強への切り替えの方法や、スマホの中での工夫をして課題を解決していく。
F. K	自分・大人	時短料理
F. S	中学1・2年生	今やっているバカロレア教育は高校に行ったらどのようなものになるの？鹿追高校の先生に聞いてみる
M. Y	鹿追町民	鹿追町は現在人口減少が問題になっているため、その対策を他の市町村の人口増加の成功例を参考にしつつ人口増加につながる対策を考えていきたい
M. K	映画を気軽に見れない中高生や大人	気軽に映画を見るには

Y.T	自分含むそれに悩んでいる人	機嫌・感情のコントロールを簡単にできるように
Y.J	鹿追の小中高の子供たち	鹿追にゲーセンを建てる
Y.Y	生徒（不登校気味になっているような）	なぜ学校に行って勉強などをしなくてはならないのかまた勉強をしなくても良いようにするにはどうすれば良いだろうか
Y.Y	鹿追町民	鹿追町に大型デパート
Y.R	学生	睡眠時間の調整
Y.S	自分と友達	道が危ない。道路を直してもらうにはどうすればいいのか

レポートの完成は2月中旬頃を予定しています。校内に掲示を予定していますのでお越しの際にぜひご覧いただければと思います。

最後までお読みいただき、ありがとうございます。

みなさまどうぞ良いお年をお迎えくださいm(_ _)m

バックナンバー	概要
<p>鹿中 IB 通信 NO.1</p> <p>↑クリックするとアクセスできます。</p>	<p>この通信の趣旨や国際バカロレアとは何か?について書いています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.2</p>	<p>年度当初に行った生徒向けの IB オリエンテーションについて書いています。当日の動画や資料も見られます。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.3</p>	<p>こちらは保護者向けの IB オリエンテーションと、同日行われた参観授業（国語）を IB 視点で解説しています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.4</p>	<p>参観授業紹介第二弾です。理科の授業の内容を《概念》と絡めて書いています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.5</p>	<p>参観授業紹介ラストです。社会と保健体育の授業の内容から《IB で知識の定着にかける時間が減る問題》に対する工夫について紹介しています。</p>
<p>鹿中 IB 通信 NO.6</p>	<p>IB 教育の大きな柱であるATL スキルと 10 の学習者像とはどういったものかについて、道徳の授業実践を元に解説しています。</p>

<p><u>鹿中 IB 通信 NO,7</u></p>	<p>十勝毎日新聞の記事になったというお話と、1学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,8</u></p>	<p>子どもたちが「総括的評価課題」に取り組む様子の紹介と、2学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,9</u></p>	<p>「SA」「CP」についての説明の前段としてのお話と、3学年の Unit1 総括的評価課題の概要一覧を紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,10</u></p>	<p>「SA」についての具体的な説明や生徒たちの夏休みの宿題について書いています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,11</u></p>	<p>「コンサルタント訪問」についての説明や面談に向けての生徒や保護者のみなさまとのやりとりについて書いています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,12</u></p>	<p>「コンサルタント訪問」の実際の中身と主に生徒たちの面談での応答について紹介しています。</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,13</u></p>	<p>「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《前編》</p>
<p><u>鹿中 IB 通信 NO,14</u></p>	<p>「文化祭と日常の学びの繋がり」について書いています。《後編》</p>

<u>鹿中 IB 通信 NO.15</u>	「コミュニティプロジェクト」 についての説明と発表会の告知をしています。
<u>鹿中 IB 通信 NO.16</u>	2学年の総合的な学習の時間「未来への提案」 の内容と目的について紹介しています。
<u>鹿中 IB 通信 NO.17</u>	保護者懇談会の中身と生徒の総括的評価課題の成果物 について紹介しています。